

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	Triple Whammy による急性腎障害回避のためのサクビトリルバルサルタン (ARNI) の選択		
1. 研究の目的と方法	近年、レニン・アンジオテンシン系阻害薬 (RASi)、利尿薬および非ステロイド性抗炎症薬の3剤併用 (Triple Whammy) による急性腎障害のリスクが報告されております。一方、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI) は RASi と比較して、クレアチニンの増加、末期腎不全など発現率が低いとされています。そこで、RASi であるバルサルタン (商品名: ディオバン®) と比較して ARNI (サクビトリルバルサルタン; 商品名: エンレスト®) の服用により Triple Whammy による急性腎障害の発症が予防・軽減できるかどうか明らかにするため研究を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日までを研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2020年8月から2024年2月までの間に、ARNI:サクビトリルバルサルタンまたは RASi:バルサルタン、利尿薬およびNSAIDsの3剤併用投与された (Triple Whammy) 患者を調査対象とします。対象となる方の年齢は問われません。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、臨床検査値	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属病院
		氏名	中澤 佑介
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の管理責任者	元日田 阿子	
(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日: 2024年5月頃～		
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名: 東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部 研究責任者: 中澤 佑介 (なかざわ ゆうすけ) 電話番号: 03-3433-1111 (内線: 5339)		

	対応時間：平日 8：30 ～ 17：00
--	----------------------

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。